

IV 情報・交流

霞ヶ浦などの県内の湖沼をはじめ水環境や大気環境、化学物質などについての研究成果や市民活動の情報など様々な情報を、インターネット等を利用して積極的に収集・整理・発信し、センターの機能である「情報・交流」の面から市民・企業・研究者・行政を結ぶ霞ヶ浦情報ネットワークの充実を図った。



1 情報収集発信事業

(1) 広報紙等のホームページへの掲載

- センター要覧(年1回)
- センター年報(年1回)
- センターのイベント案内(随時)

(2) センター施設での情報提供の充実

ア 図書の閲覧、貸出

主に環境関係の図書及び逐次刊行物を交流サロン及び文献資料室に配置
 ・所蔵図書 30,516冊(うち貸し出し可能な図書 9,279冊)

2 センターホームページ等の充実

(1) センター行事の発信

- ア センターで実施するイベント情報の発信
- イ ブログを活用した情報発信



センターホームページ

(2) 市民団体及び市町村の情報発信

- ア 環境保全活動に取り組む市民団体及び市町村のイベント等の紹介
- イ 活動機材の紹介
- ウ サポーター・パートナー制度の紹介

(3) 研究成果等の発信

- ア 水質等のデータ公開

- イ センター主催の研究成果発表会・公開セミナーの紹介
ウ 研究状況の紹介

(4) 環境教育

霞ヶ浦自然観察会、霞ヶ浦出前講座及び霞ヶ浦学講座等の紹介

(5) SNSの活用

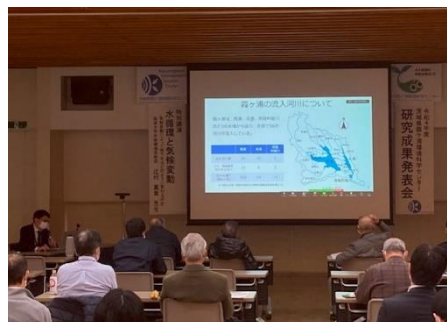
X (旧ツイッター) やフェイスブックによる情報発信



フェイスブック X (旧ツイッター) インスタグラム
※名称をクリックすると当センターの該当 SNS に移動します。

3 研究成果発表会の開催(会場・オンライン形式)

- ・開催日時 令和5年1月27日(金)
- ・場 所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール(ポスター発表はロビーに掲示)
- ・参加者 124名(会場 46名、オンライン78名)
- ・特別講演 「水循環と気候変動—気候変動により地下水はどのように変わるのか—」
筑波大学生命環境系教授 辻村 真貴 氏
- ・発表タイトルと発表者
(口頭発表)
 - ① 牛久沼における流域都市化の影響と近年の水質変動要因
湖沼環境研究室 長濱 主任研究員
 - ② 霞ヶ浦流入河川における汚濁負荷の長期的変化
湖沼環境研究室 大内 主任
 - ③ 大気中の有害汚染物質に関するモニタリング調査研究
—六価クロムの分析について—
大気・化学物質研究室 豊岡 主任研究員



研究成果発表会(多目的ホール)

(ポスター発表)

- ① 銚田川の窒素濃度の上昇 ～銚田川の流域と水質の特徴～
湖沼環境研究室 大内 主任
- ② 北浦の貧酸素水塊 ～貧酸素水塊は、いつ、どこで発生しているのか～
湖沼環境研究室 湯澤 室長
- ③ ハス田群からの汚濁負荷に関する調査研究事業 ～ハス田からの汚濁負荷削減対策～
湖沼環境研究室 佐野 主任研究員
- ④ アオコ情報の発信 ～アオコの発生状況を調査して、今後の発生を予測する～
湖沼環境研究室 長濱 主任研究員
- ⑤ 湖沼水質の長期的変化 ～平成14年から近年までの変遷～
湖沼環境研究室 齋藤 主任
- ⑥ 牛久沼水質の長期的変化 ～平成14年から近年までの変遷～
湖沼環境研究室 長濱 主任研究員
- ⑦ 県内の有害大気汚染物質の状況 ～県内7箇所で有害大気汚染物質を調査～
大気・化学物質研究室 豊岡 主任研究員
- ⑧ 茨城県における微小粒子状物質 (PM2.5) の推移
～常時監視結果からみるPM2.5の濃度分布とその成分～
大気・化学物質研究室 小田 主任
- ⑨ 災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した
緊急調査プロトコルの開発
大気・化学物質研究室 吉田 主任
- ⑩ 百里飛行場における航空機騒音実態調査 ～飛行場周辺10地点の調査結果～
大気・化学物質研究室 田畑 室長

4 公開セミナーの開催(会場・オンライン形式)

- ・開催日時 令和5年3月4日(土)
- ・場 所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール
- ・参加者 91名 (会場 42名、オンライン49名)
- ・基調講演 「霞ヶ浦の水質－霞ヶ浦ってどんな湖?－」
筑波大学名誉教授 福島 武彦 氏
- ・研究発表タイトルと発表者
 - ① 北浦の水質変動要因 －汚れの原因は何だろう?－
湖沼環境研究室 湯澤 室長
 - ② 県内のPM2.5の状況－PM2.5って何?どこから飛んでくるの?－
大気・化学物質研究室 小田 主任



基調講演 (多目的ホール)



分析室案内ツアー (分析室)